

授業概要

インターンシップⅠは1, 2年次または3年次にインターンシップ等を体験しようとする学生のための授業である。ただし、授業でインターンシップ等の実習そのものを体験するのではなく、インターンシップ等の体験者である先輩や内定者である先輩、また企業で働いている社会人（企業人）とのコミュニケーションを通じ、就職に対する意識を高めることを目的とした指導を行う。

授業計画

第1回	事前ガイダンス（インターンシップⅠの進め方）とインターンシップ等の意義
第2回	グループワーク（自己紹介・担当教員等とのディスカッション）
第3回	先輩との交流会（3年次生のインターンシップ経験者との対話と質疑）
第4回	グループワーク（交流会の反省と課題のディスカッション）
第5回	先輩との交流会（4年次生の就職内定者との対話と質疑）
第6回	グループワーク（働くことの意義に関するディスカッション）
第7回	社会人との交流会（企業で働いている社会人（企業人）との対話と質疑）
第8回	交流会の振り返りと自己分析
第9回	職業を調べてみる
第10回	募集中のインターンシップを調べてみる
第11回	働くことと実務の基礎知識①（働くことと、組織で働くこと）
第12回	会社を調べてみる
第13回	働くことと実務の基礎知識②（労働法規・組織が求める人物像）
第14回	グループワーク（企業調べに関するディスカッション）
第15回	総括～振り返り～
第16回	「インターンシップⅠ 課題レポート」の提出

※ 内容は目安であり、受講人数やゲストとの調整などにより、適宜変更しながら実施します。

到達目標

- ・インターンシップ等に行くための様々な情報に触れることにより、就業意識を向上することができる。
- ・就職活動という目標に対して、大学1・2年次にすべきことを意識し、準備することができる。

履修上の注意

- ・授業の目的が他の講義と異なるため、第1回目の授業に必ず出席すること。履修人数に上限があるため、第1回目の出席者の中からさらに人数を制限することがある。
- ・秋期の定期試験後に何らかのイベントに参加する場合があります。その場合には、通常授業期間の授業への出席と課題提出に加えて、そのイベントへの出席と、事後指導の受講（含む、プレゼン）が単位取得の条件になる。
- ・授業の趣旨から、3年次生・卒業年次生および一般企業に就職を希望しない学生は、登録を遠慮すること。
- ・授業ではグループワークを頻繁に行うため、積極的な発言が求められる。

予習・復習

- ・予習：新聞等で社会的な出来事に関する情報を入手する。
- ・復習：授業後に内容をレポートとしてまとめる。

評価方法

- ・受講姿勢と授業内レポートによる平常点50%と、定期試験に代わるレポート50%の配分を目安として総合的評価する。
- ・授業の性質上、遅刻、欠席、受講姿勢に対しては厳しく対応する。
詳しくは第1回目の授業でお話する。

テキスト

- ・特に使用しない。